

教育委員会会議の概要（令和3年11月定例会）

◆ 日 時 令和3年11月12日（金）午後2時00分から午後3時06分まで

◆ 場 所 教育局 第1会議室

◆ 出 席 者

教 育 長	福 田 洋 之	出 席
委員・教育長職務代理者	花 渕 浩 司	出 席
委 員	阿 子 島 佳 美	出 席
委 員	梅 田 真 理	出 席
委 員	川 又 政 征	出 席
委 員	後 藤 由 起 子	出 席
委 員	山 田 理 恵	出 席

◆ 会議の概要

1 開 会

2 議事録署名委員の指名 山 田 委 員

3 報 告 事 項

（1）坪沼小学校跡施設利活用事業について

（学校規模適正化推進室長 説明）

資料に基づき報告

（2）仙台市図書館振興計画2022（中間案）について

（市民図書館長 説明）

資料に基づき報告

4 付 議 事 項

第24号議案 仙台市子ども読書活動推進計画（第三次）の計画期間延長について

（生涯学習課長 説明）

資料に基づき説明

梅田委員 本市の第三次計画が始まってから、国の第四次計画が策定されている。説明の中で、本市の第三次計画は国の第四次計画の内容を網羅しているとあったが、これは国の計画にあまり大きな変化がなかったためか。一方、国の第五次計画はかなり大きな変更となるため、それに合わせて本市の新たな計画の策定を行いたいものと思われるが、その点を伺いたい。

また、成果指標について、当初は令和3年度に評価する予定としており、こちらも2年間延長するということだが、一旦このタイミングで評価をする必要はないか。当初、令和3年度までとしていた数値目標について、既に達成できているのであれば少し高い目標に修正する、あるいは、達成が難しいのであれば目標を下げるなどの調整が必要ではないかと感じた。当初の予定どおり、一旦この段階で中間評価をしたうえで、延長後の最終成果指標を検討する必要性はないか伺いたい。

生涯学習課長 実際、国の第四次計画は第三次計画からさほど大きな変化はなかった。また、本市の計画と比べると、かなり大まかな内容となっており、具体的な事業等は盛り込まれておらず、家庭、地域、学校、図書館の各主体の取組みの方向性を定めているものである。それらについて特に大きな変化はなかったことから、本市の計画は国の計画を十分網羅していると考えている。

また、延長にあたっての成果指標の取扱いについては、現計画では7つの成果指標を設定しているが、一部を除き、なかなか目標を達成できていない状況が続いている。そのため、目標を変えずに、2年間引き続き取り組んでまいりたいと考えている。

副教育長 補足させていただくと、成果指標の現時点での達成状況は様々だが、ここ2年余りのコロナ禍による休校や図書館の休館の影響もあり、また、子どもたちの読書活動を含む生活全般が本来の状況ではない中での評価は難しいと判断した。したがって、世の中全体がウィズコロナ、アフターコロナとなった状況を見極めたうえで、評価と次期目標の設定に向けた検討を行ってまいりたいと考えており、まずは現行の計画を2年間延長させていただきたい。

梅田委員 成果指標も含む図書館の活用状況等については毎年調査されており、まだ達成できているものも少ないということを含めて判断されたということなので、その点が分かれば安心した。

阿子島委員 仙台市図書館振興計画2022(中間案)の中にある、「0歳から読書に親しめる読書文化を育む図書館となるために」に関連して、子どもたち向けのブックリストを作成されていることは承知しているが、以前にブックスタート事業を開始するかもしれないという話もあったので、その進捗状況について教えていただきたい。

また、私は地域の学校で読み聞かせの活動をしていて、そこでは朝読書に小学1年生から6年生まで参加している。教科書に竹取物語が載っていたため、先生から子どもたちに昔話をどのくらい知っているか尋ねたところ、知っている子どもはほとんどいなかったという話があった。以前はテレビ等でも放送されていたが今はほとんどなく、できれば朝読書で昔話を読んでほしいと依頼があったためにいろいろと調べていたが、図書館で学校に貸出しているブックリストには昔話がどのくらい含まれているか。内容によっては子どもたちに読み聞かせしていいか不安な部分もあるため、できればそうした部分をきちんとしたうえで、図書館で貸し出させていただきたい。

市民図書館長 ブックスタート事業について、現在は他都市の実施手法などを研究している状況である。様々な手法の中で、健診の際に読み聞かせをして本をプレゼントするというも

のが最も多いが、健診も何か月健診、何歳児健診と様々あるので、まずは実施手法を研究しつつ、関連部局との連携を進めているところである。

また、昔話については、ブックリストに昔話がどの程度載っているかの資料が現在手元にないところだが、リクエストがあれば、できるだけ学校や各団体のニーズに応える形での貸し出しなどを行っていることもあるので、そうした連携をこれからも大切にしながら、本を提供していきたい。

阿子島委員 他部署との連携もあると思うが、子どもたちが小さいときから読書に親しめるよう、ブックスタート事業も含め、早急に進めていただきたい。

昔話の件は、やはり読み聞かせでは新しい本に目がいてしまいがちになるので、図書館として子どもたちに読んでほしいという観点で本を導入いただき、積極的な貸出しを推進していただければと思う。

花淵委員 子どもたちの読書を推進するということが、子どもたちからは読みたい本がないとの声もよく聞く。児童生徒数に対する蔵書数は充足していると思うが、今の子どもたちが読みたい本について、何か調査はしているか。

生涯学習課長 各学校で子どもたちからどういったニーズが上がっているかなどの現状についての把握はしていないが、子どもたちが本当に読みたい本ということを考えれば、子どもたち自身に選書をさせるのも一つの手であろうし、保護者の方がそれに加わり、一緒に読みたい、読ませてみたい本を選んでいただくことは非常に大事なことでありと考えている。

この計画ができた平成 29 年度より学校図書館運営モデル校事業を実施しており、小学校 7 校、中学校 2 校、特別支援学校 1 校ということで学校数は少ないが、通常の図書費に加え、図書の購入や図書館の環境充実のための備品の購入費用の配当を行っている。先ほどの選書に子どもたちを関わらせる取組みについては、ほとんどのモデル校が行っており、そういった好事例などを事例集という形で、年度明けに各学校に配付している。こうした工夫によって図書館の蔵書に子どもたちの意見を反映させることへの理解や周知に努めてまいりたい。

山田委員 成果指標について、平成 28 年度までの第二次目標では、1 日 30 分以上読書する小学校 6 年生の児童の割合を 50% としていたが、令和 3 年度までの第三次目標では 45% となっている。これは目標を下げたということか。

生涯学習課長 目標が現状と乖離していたため、取組みを進めることで達成できそうな数値に目標を設定したものである。

山田委員 目標自体を現状に即して変えるのはいいと思うが、変更した理由をどこかに記載してもいいのではないかと思う。また、平成 22 年度の第一次実績と平成 27 年度の第二次実績を比較すると、数値のほとんどが下がってきている。これが、例えば平成 30 年度ではどうであったかなど、コロナの前段階におけるトレンドは把握しておくべきではないかと思う。もし、コロナ禍の影響に関係なく数値が下がっているのであれば、その対策をどうするか、また教育的にどの程度の数値が望ましいかは分からないが、その辺りをどのように考えればよいか。

生涯学習課長 成果指標の変更について、次期計画を策定する際には、目標値設定の考え方の記載などを考えていきたい。

また、成果指標については、単に達成を目指すためのものではなく、具体的にどの取組みの効果があつたのかなどを検証するための目安として捉えている。先ほど、コ

コロナ禍の影響に関係なく、全体的に状況が悪くなってきているのではとの指摘があったが、実際には、例えば朝読書の導入など各学校での取組みは進めているものの、読書習慣にはなかなか結びついていないという実態がある。

また、教育的にどの程度の数値が望ましいかを客観的に示すことは難しいところであるが、そういった意見も踏まえ、今後検討してまいりたい。

山田委員 こうしたトレンドについては把握していただき、それに対して何をどう対策するのか、もしかすると全体的ではなく、もっと細かな部分の数値に着目するなど、そういった目標設定でもいいのではないかと思った。

原案のとおり決定

第25号議案 市議会の議決を経るべき事案に係る市長への意見の申出について

(1) 指定管理者の指定に関する件について(仙台市榴岡図書館)

(市民図書館長 説明)

原案のとおり決定

(2) 仙台市市民センター条例の一部を改正する条例

(生涯学習支援センター長 説明)

原案のとおり決定

(3) 工事請負契約の締結に関する件(仙台市立七北田中学校校舎増改築工事)

(学校施設課主幹 説明)

原案のとおり決定

第26号議案 臨時代理に関する件について

(教職員の人事に関する事項について(学校職員の懲戒処分について))

(教職員課長 説明)

原案のとおり決定

第27号議案 教職員の人事に関する事項について(教職員の人事異動について)

(教職員課長 説明)

原案のとおり決定

6 閉 会